



8月 園だより 秋川あすなろ保育園 R6.8.1(木)



今月の共通テーマ

- ・ 夏にしかできないあそびを十分に行う。
(プール、水あそび、沐浴、水鉄砲、泥んこ、色水あそびなど)
- ・ 暑さに負けず元気にあそぶ。

8月の行事予定

- ・ 11日(日) 山の日
- ・ 12日(月) 振替休日 ※保育園はお休みです
- ・ 15日(木) 避難訓練 地震を想定して行います。
終戦の日 戦争や平和についての活動を行います。
- ・ 20日(火) 乳児集会
- ・ 26日(月) 乳児健診(0、1、3歳児)
- ・ 27日(火) 誕生日会
8月誕生日の子をみんなでお祝いします。10時より開始です。
※りす～ぞう組のお誕生児のご家族2名までご参観いただけます。
給食試食はうさぎ、きりん、ぞう組のご家族が対象です。
- ・ 31日(土) 納涼大会
保護者会主催で、役員さんを中心に計画をして下さっています。
詳しくは保護者会のおたよりをご覧ください。

※8月のぞう組調理保育はお休みです

秋の大運動会の開催方法について

今年度の秋の大運動会につきまして、開催方法を以下のとおりに決定しましたのでお知らせします。

開催日:10月5日(土)

予備日:10月9日(水)

開催場所:秋川あすなろ保育園 園庭

開催方法:2部制(1部:ひよこ・りす 2部:うさぎ~ぞう)
参観人数制限なし(小中学生はご参観できません)
参観は原則立ち見となります

その他の詳細は後日運動会のお知らせにてご案内いたします。

夏休み期間中のお願い

- 期間中は生活リズムが乱れやすくなり、それに伴い体調を崩してしまうことがあります。早めの対応が大事になりますので、体調不良の際は普段より早めにご連絡することがあります。ご理解とご協力をお願い致します。
 - 終業式で子どもたちと以下の約束事をしています。
 - ① プールや海、川など水の事故に気をつけること
 - ② やけどに気をつけること(花火など)
 - ③ 知らない人についていかないこと
- ご家族でお出かけなどが増えることと思いますが、ご一緒に約束事を確認し、事故の防止に努めていただくようお願い致します。
- 様々な感染症が流行しています。中にはアルコール消毒が効かないウイルスもあるため、日々のこまめな手洗いなど、感染対策をしっかりと行って健康で楽しい夏を過ごしましょう。
 - お出かけなどで、予定が変更になりお休みすることもあるかと思いますが、アプリのお休み入力を忘れずに行ってください。出欠の確認が出来ない場合、園より確認のお電話をいたします。

七夕集会

7月5日に七夕集会がありました。先生によるペープサート劇で、七夕にまつわるお話を学びました。その後は七夕のお遊戯をお披露目して楽しみました。



ぞうぐみと 一年生の集い

ぞう組と、この春卒園した一年生が交流する行事。卒園した後も関わりを大事にしたいという園の思いが詰まっている行事です。

これから行くことになる小学校ってどんなところ？といろいろな質問をしたり、園庭に出て一緒に水鉄砲で目いっぱい遊んだり、とても楽しい交流となりました。

あすなろでは、3年生、6年生の時にも集いがあります。いつまでも身近に感じて足を運んでくれることをとても嬉しく思っています。

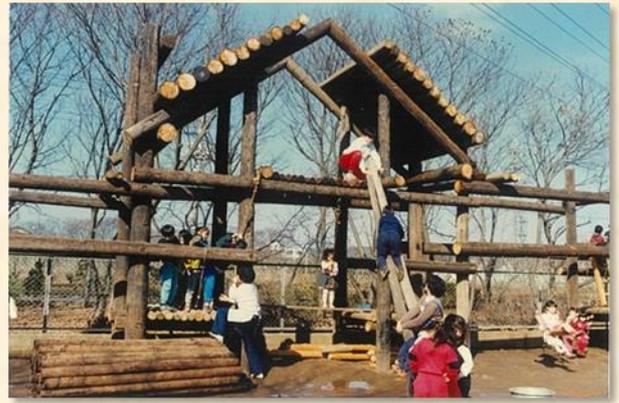


あすなろヒストリー 手作りのアスレチックのお話

その昔、あすなろ保育園の園庭には大きな木製のアスレチックがありました。当時の保護者の方達による手作りで、お忙しい中合間を縫って作業を進めて頂き、立派なアスレチックが完成しました。

長い間園庭のシンボルとして親しまれていましたが、次第に老朽化が進みました。2007年に、アスレチック製作に関わって頂いた方たちをお招きしてセレモニーを開催して取り壊し、アスレチックの歴史は幕を閉じました。

今も園庭にはアスレチックの名残が残っています。



製作途中のアスレチックで遊ぶ園児



アスレチックの全景



セレモニーで語るキヨ子先生



アスレチックの名残の遊具

あきる野市子育て情報局 ファミリー・サポート・センターのご紹介

ファミリー・サポート・センターは、育児の援助をしたい方(提供会員)と、育児の援助をしてほしい方(依頼会員)が会員となり、地域の中で助け合いながら子育ての援助活動をする会員組織です。

保育園では、園への送迎やその前後の預かりで主に利用されています。他にも学校行事の参加や冠婚葬祭の際の一時的な預かりといった援助活動があります。

利用予定が無い方でも、急な利用に備えて会員登録しておくことが推奨されていますので、ご興味のある方は下記ホームページをご覧ください。

[るのキッズ「ファミリー・サポート・センター」](#)

園長より

言葉にするのも嫌になるほど暑い日が続いています。

保育園では、気温・湿度などの環境に応じて、プールや戸外での活動の時間帯や長さを調節したり、室内での活動内容を工夫しながら過ごしています。

職員も暑さと闘いながら、子ども達の安全と成長のために日々過ごしています。たとえば調理担当者は、“古くて狭い”厨房で火や湯気に囲まれて40℃越えは当たり前といった環境の中、安全でおいしいものを決まった時間に毎日提供しています。普段は目につきにくい部分も含め、さまざまな職種・役割の職員が、それぞれの持ち場で力を発揮することで、保育園の活動が成り立ち、子ども達の安全や成長につながっていくのだということを、あらためて実感しています。

納涼大会について

先日の保護者会からのお手紙にもあったとおり、保護者会役員さん方を中心に納涼大会の準備が進められています。

当園の納涼大会は、「子ども達に、(お友達や家族とともに過ごす)夏の楽しい思い出を」との思いから、保護者の皆様が主体となって行う一大イベントとして、開園数年後から40年以上続けられてきています。

内容は少しずつ変わってきている部分もありますし、コロナ禍でやむを得ず中止した年や多くの制約の中で行った年もありましたが、我が子やお友達が楽しい時間を過ごせるよう、保護者の皆さんが労を惜しまずに様々な役割を分担し協力して実施していくという形は脈々と受け継がれています。

子ども達にとっては、「自分やお友達のお母さん・お父さんが、自分たちのためにいろいろなことを頑張ってくれている」姿を見ることで、感謝や尊敬など様々な感情を抱く貴重な機会となっていますし、保育者もそのような関わりをしています。

また、保護者・ご家族の皆さんにとっては、普段の登降園時にはお会いする機会の少ない方も含めた、多くの方々との交流の機会にもなっていると思います。

現在「お手伝いさん募集」の張り紙が本園玄関ホールに掲示されており、ご協力いただける方のお名前が枠が埋められつつありますが、まだ若干の空欄が見られます。多くの保護者・ご家族の方々が「お客さん」としてだけでなく「提供者」としての姿を子ども達に見せていただけるとありがたいです。

保育園でも、きりん組・ぞう組ともなれば「みんなで力を合わせて」何かをやり遂げることの大切さを経験するような取り組みをしています。

納涼大会は、大人が「力を合わせて」いる姿を子どもに見せる絶好の機会です。あきる野市教育委員会では「おとなが手本のあきる野市」運動を推進していますが、納涼大会の取り組みは、この運動の趣旨にも合致するのではないかと考えています。

私からも、一人でも多くのご参加をお願いし、8月最後の土曜日が、子ども達にとって楽しく貴重な時間となることを願っています。